

地域の絆が高齢者向け住宅

4/1 「すまいる仁伍」オープン レストラン併設し出会いの場に



面積は一六〇九平方メートル、敷地面積は五四九平方メートル。設計は(株)あい設計福山支社(同市新瀬町)、施工は富士建設(株)(同市神島町)。

NPO法人地域の絆(福山市木之庄町四一四一二六、中島康晴代表理事)は4月1日、

同町五一九一九にサービスクラス付き高齢者向け住宅「すまいる仁伍」をオープンする。写真・真上は完成予想図。

工事は順調に進んでおり、写真下(1月29日の様子)、一階には「板前割烹(かまぼく)なかくし」(同市霞町)の中串幸彦代表が全面的にプロデュースする和食レストランを併設。入居者だけでなく、一般の人も食事や酒席に利用できる。鉄骨造り三階建てで延べ床



おり、機械に頼らないくつろげる入浴タイム

入居定員は四八人で、居室は全て個室。広さは約一八平方メートルでトイレ付き。一階には居室八室と入居者向け厨房、事務室を設け、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所としても運営する。入居者用の食堂兼相談室は、地域の催しなどに積極的に開放する。



二階と三階には風呂場と各二〇個の居室がある。浴室は一般家庭と同程度の一人用で、機械浴は採用しない。「要望があればスタッフが一緒に浴槽に入り、不安軽減のためにお手伝いをする」と管理者の高尾奈美さん。写真中。「利用者本位のケアを前提にして

を提供したい」と話す。

ケア専門スタッフが常駐し、一日に一回は部屋を訪問して安

否確認と緊急対応を行う。夜間はナースコールを使える。

グループ一〇番目の施設となる「すまいる仁伍」。和食レストランの利用者をはじめ、さまざまな人との出会いの場になることを目指す。既存の小規模多機能施設などではコーヒーを一杯五〇円で提供するカフェを運営しており、地域の人も自由に使える交流拠点として認知されているとい

う。

これらのカフェでは、コーヒーを飲みながら子育てに関する相談をする若い母親に認知症の利用者が答えたり、地域の小学生が宿題をみてもらうこともあるとか。「人生の先輩である利用者の方々の活躍の場を広げたい。すまいる仁伍でも、既存施設同様の取り組みを行う予定」

入居対象は要支援から要介

護認定五までの人で、希望すれば看取りまで行う。料金は食事、部屋代、管理費・共益費、サービスクラス込みで一五万三〇〇〇円(三〇日分)。入居時に敷金として部屋代の三カ月分の一九万八〇〇〇円が必要になる。3月に内覧会を開催する予定。

問 地域福祉センター向永谷
☎084・977・141

7

CHUGOKU 備後の経済情報誌

BJ ビジネス情報

February 2018

2/10